



「自分もみんなもうれしい学校に」

春休みの間、こどもたちに「1つ下の学年の人が『楽しみ』と思える令和6年度時の学年の魅力」について考えておくようお願いをしていました。自分の1年間の成長や楽しかったことを思い出すとともに、新しく始まる学年への希望をもってほしいと思ったためです。代表して3年生に聞いてみたところ、「理科、社会、フジアザミ学習がはじまり、新しいことができるようになる。仲間と協力することが多くなり、自分の力がのばせて、みんなと仲良くなれる。」と『3年生の楽しみ』を教えてくれました。新しい学年に向けて、どの子も期待を高めていることが、表情から伝わってきてうれしくなりました。

学校教育目標『目標をもって 考え合い 認め合い 挑戦する子』

重 点 目 標 (みんなでがんばる合い言葉)



かんがえをもち、伝え合う
いい言葉・いい心



みんなで力を合わせる
できるまで挑戦する



令和7年度、8名のかわいらしい新入生を迎えて、全校児童67名でスタートします。上井出小は、富士宮市の魅力ある学校づくり「園・小・中のスムーズな接続の実現」の指定を受け、全学年が1年生や園児と関わることで、双方のウエルビーイングにつなげていこうと考えています。その際、これまで積極的に取り組んできた縦割り活動を通して、より効果を発揮していく予定です。

始業式では次のような話をしました。

令和7年度のスタートにあたり、上井出小のみんなと一緒に一番頑張っていきたいことを話します。

それは、上井出小を「日本一ほめられる学校にしたい」ということです。校長先生は、みんなのいいところをほめるだけでなく、先生方のいいところをほめたいと思います。

先生方には、クラスの子だけでなく、全校児童67名のがんばっているところ、やさしい行動など、いいところをほめてもらうようにお願いしました。そして、みなさんには、同じクラスの友達・縦割りのメンバーなど、仲間のよいところを見つけて、ほめてほしいと思っています。

人は、ほめられるうれしくなります。うれしい気持ちになると、ほめられたことをがんばってみたくなります。がんばったことは得意になります。得意なことは、更にほめられます。このように、みんなのかけた一言のほめ言葉が、「仲間のよさ」につながっていくと私は考えています。

先生からほめられる。仲間から認められる。そうすることで、「自分にはいいところがある」と思える強さにつながります。

今からできます。上井出小を日本一ほめられる学校にするために、みんなの力をかしてください。

「日本一ほめられる学校」の実現に向け、保護者や地域の皆様のお力を借りることで、子どもの主体性を伸ばし、協働してやり抜く力を育む教育活動を推進していきたいと考えています。改めまして、保護者・地域の皆様の一層の御支援・御協力を賜りますよう、よろしくお願ひします。